

事業活動温暖化対策計画書 兼 実施状況等報告書

1 事業者等の概要

氏名又は名称	安曇野市教育委員会					
代表者名	氏名	橋渡 勝也	役職名	教育長		
主たる事務所の所在地	安曇野市豊科6000番地					
主たる事業の分類	大分類	S 公務（他に分類されるものを除く）				
	中分類	98 地方公務				
主たる事業の概要	市教育委員会					
制度に該当する要件	<input checked="" type="checkbox"/>	条例第12条第1項第1号及び条例施行規則第4条第2項第1号に該当する事業者				
	<input type="checkbox"/>	条例第12条第1項第1号及び条例施行規則第4条第2項第2号に該当する事業者				
	<input type="checkbox"/>	条例第12条第1項第2号に該当する事業者				
	<input type="checkbox"/>	上記以外（任意提出）の事業者				
		基準年度実績	最終年度の目標	第一年度報告	第二年度報告	第三年度報告
原油換算エネルギー使用量	kl	2,036	1,976	2,104	2,198	2,590
エネルギー起源二酸化炭素排出量	t-CO ₂	3,917	3,801	4,089	4,293	5,066
その他ガス排出量合計	t-CO ₂	0		0	0	0
自動車の台数	台	57		57	59	56
自動車からの排気ガス合計	t-CO ₂	66				

2 基準年度、計画期間及び報告対象年度

基準年度	2019	年度
------	------	----

計画期間	2020	年度～	2022	年度
------	------	-----	------	----

報告対象年度	2022	年度
--------	------	----

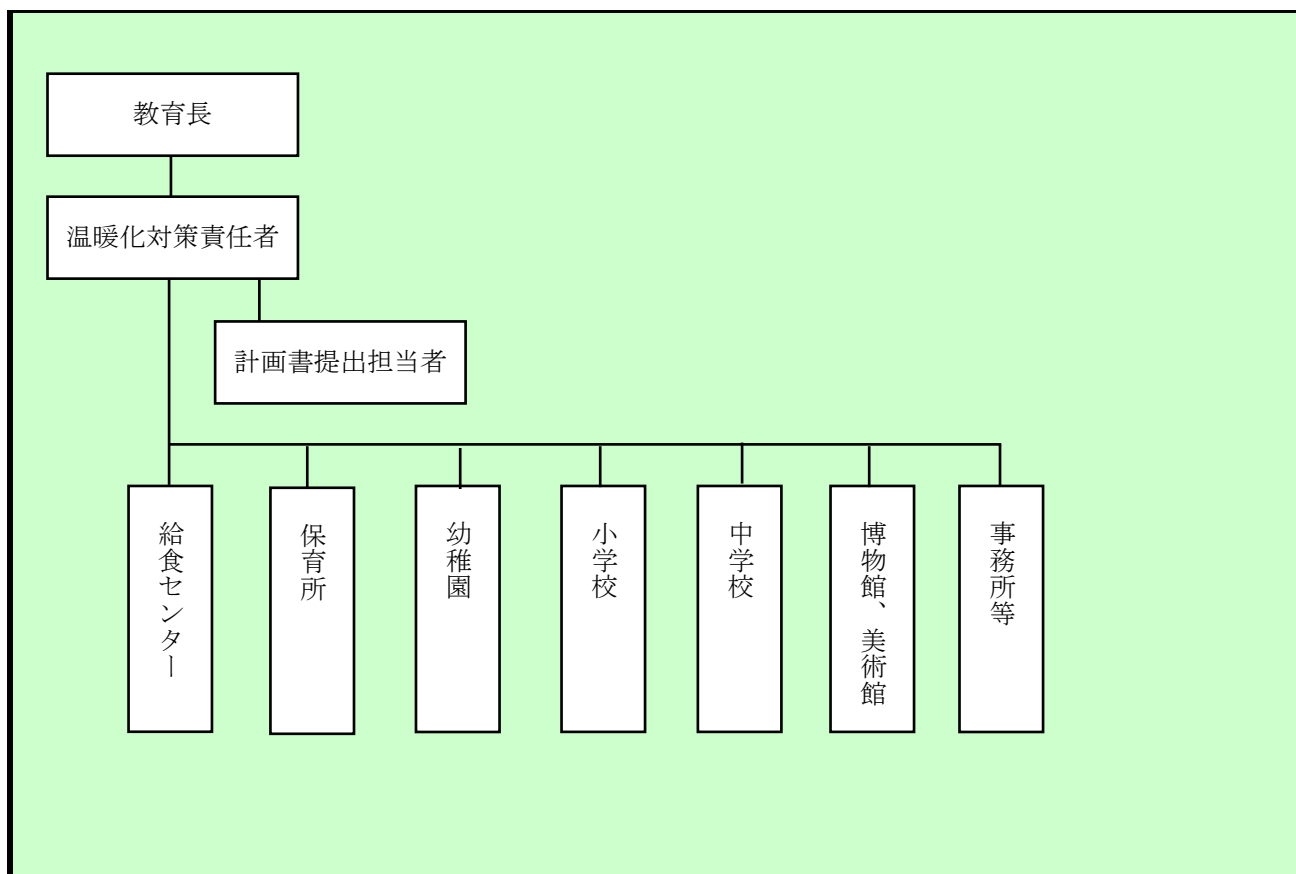
3 計画書（報告書）の公表方法等

<input checked="" type="checkbox"/>	ホームページ	http://www.city.azumino.nagano.jp/
<input type="checkbox"/>	印刷物の閲覧	
<input type="checkbox"/>	その他	

4 温室効果ガス排出抑制のための基本方針

安曇野市地球温暖化防止実行計画（地方公共団体実行計画（事務事業編）に該当）に則り、市は自らも一つの消費者・事業者であることを認識し、すべての事務・事業において、省エネルギー・省資源、廃棄物の減量などの地球温暖化防止に向けた取り組みを率先して行い、温室効果ガス排出量の抑制に努めます。

5の1 温室効果ガス排出抑制のための組織体制



5の2 温室効果ガス排出抑制のための会議体等の名称及び開催頻度

環境マネジメントシステムの運用によりPDCAサイクルを行い、年に1～2回程度部長会議（環境マネジメントシステムの推進本部を兼ねる）に報告し、意見交換等を行う。

様式1号
(総括票)

6の1 エネルギー起源二酸化炭素の排出抑制に係る目標及び実績

基準年度	基準排出量	3,917	t-CO ₂	延床面積(換算)	2,137.07	単位	百㎡
2019年度	調整後排出量	3,917	t-CO ₂	基準原単位	1.83	t-CO ₂ /	百㎡
目標年度	目標排出量	3,801	t-CO ₂	目標原単位	1.78	t-CO ₂ /	百㎡
2022年度	目標削減率	2.96	%	目標削減率	3.00	%	
目標設定に関する説明	年1%以上の排出抑制を目標とする。						
第一年度	排出量	4,089	t-CO ₂	延床面積(換算)	2,137.97	単位	百㎡
	削減率	-4.40	%	原単位	1.91	t-CO ₂ /	百㎡
2020年度	調整後排出量	4,089	t-CO ₂	原単位削減率	-4.38	%	
	削減率	-4.40	%				
排出量等の増減理由	新型コロナウイルス感染予防のための換気機会の増加や使用部屋数の増加により、電気・灯油使用量が増加した。また、スポーツ施設の新規追加により、電気使用量が増加した。						
第二年度	排出量	4,293	t-CO ₂	延床面積(換算)	2,211.29	単位	百㎡
	削減率	-9.60	%	原単位	1.94	t-CO ₂ /	百㎡
2021年度	調整後排出量	4,293	t-CO ₂	原単位削減率	-6.02	%	
	削減率	-9.60	%				
排出量等の増減理由	新型コロナウイルス感染症の行動規制緩和に伴う施設使用機会の増加により、電気や灯油の使用量が増加した。また、体育館施設の新規追加により、電気使用量が増加した。一部施設で、前年度よりも冬季の寒さが厳しかったことにより灯油の使用量が増加した。小中学校では空気調和設備使用量の増加(2020年度にエアコン設置)、電子黒板の使用やGIGAスクールの端末機器の充電に伴い電気使用量が増加した。						
第三年度	排出量	5,066	t-CO ₂	延床面積(換算)	1,982.97	単位	百㎡
	削減率	-29.34	t-CO ₂	原単位	2.55	t-CO ₂ /	百㎡
2022年度	調整後排出量	5,066	t-CO ₂	原単位削減率	-39.35	%	
	削減率	-29.34	%				
目標の達成状況及び排出量の増減理由	組織改編により、報告対象にエネルギー使用量が多い保育所、公民館(事務所等を含む)が加わった。一方、延床面積が大きいスポーツ施設と体育館が報告対象から外れた。このことにより、全体の排出量、原単位が増加。また、新型コロナウイルス感染症の制限緩和に伴う施設使用機会の増加や感染症対策の換気により、灯油、LPG、電気の使用量が増加。前年度よりも真夏日、猛暑日が多かったため、エアコン使用機会が増加した。						

様式1号
(総括票)

6の2 エネルギー起源二酸化炭素以外の温室効果ガスの排出抑制に係る目標及び実績

基準年度	基準排出量	0	t-CO ₂			単位	
2019 年度	調整後排出量		t-CO ₂	基準原単位		t-CO ₂ /	
目標年度	目標排出量		t-CO ₂	目標原単位		t-CO ₂ /	
2022 年度	目標削減率		%	目標削減率		%	
目標設定に関する説明							
第一年度	排出量	0	t-CO ₂			単位	
	削減率		%	原単位		t-CO ₂ /	
2020 年度	調整後排出量		t-CO ₂	原単位削減率		%	
	削減率		%				
排出量等の増減理由							
第二年度	排出量	0	t-CO ₂			単位	
	削減率		%	原単位		t-CO ₂ /	
2021 年度	調整後排出量		t-CO ₂	原単位削減率		%	
	削減率		%				
排出量等の増減理由							
第三年度	排出量	0	t-CO ₂			単位	
	削減率		%	原単位		t-CO ₂ /	
2022 年度	調整後排出量		t-CO ₂	原単位削減率		%	
	削減率		%				
目標の達成状況及び排出量の増減理由							

様式1号
(総括票)

6の3 自動車の使用に伴う二酸化炭素の排出抑制に係る目標及び実績

基準年度	基準排出量	66	t-CO ₂			単位	
2019年度				基準原単位		t-CO ₂ /	
目標年度	目標排出量		t-CO ₂	目標原単位		t-CO ₂ /	
2022年度	目標削減率		%	目標削減率		%	
目標設定に関する説明							
第一年度	排出量		t-CO ₂			単位	
				原単位		t-CO ₂ /	
2020年度	削減率		%	原単位削減率		%	
排出量等の増減理由							
第二年度	排出量		t-CO ₂			単位	
				原単位		t-CO ₂ /	
2021年度	削減率		%	原単位削減率		%	
排出量等の増減理由							
第三年度	排出量		t-CO ₂			単位	
				原単位		t-CO ₂ /	
2022年度	削減率		%	原単位削減率		%	
目標の達成状況及び排出量の増減理由							

7 重点対策の実施状況

段階	番号	対策名称	基準年度	実施予定	第一年度	第二年度	第三年度	備考
I～II	I-1	燃料使用量等の定期的な把握						
	I-2	エコドライブの励行						
III	III-1	次世代自動車の導入計画						
IV	IV-1	次世代自動車の導入						

様式1号
(総括票)

8 排出抑制目標達成のための具体的な措置

番号	区分	区分 番号	対策内容	計画		状況	
				実施予定 年度	削減見込量 (t-CO ₂)	実施 年度	推計削減量 (t-CO ₂)
1	エネ起	110104	目標設定、実行計画の策定	2020		2020～ 2022	
2	エネ起	110105	PDCAサイクル管理	2020～ 2022		2020～ 2022	
3	エネ起	130101	設定温度、湿度の適正化	2020～ 2022		2020～ 2022	
4	エネ起	130105	運転時間、ファン動力の軽減対策	2020～ 2022		2020～ 2022	
5	エネ起	140101	給湯温度設定	2020～ 2022		2020～ 2022	
6	エネ起	150204	適正照度の管理	2020～ 2022		2020～ 2022	
7							
8							
9							
10							

9 自然エネルギー源利用設備等の導入計画及び状況

機器の種類	単位	基準年度	導入計画	第一年度	第二年度	第三年度
太陽光発電設備	kW					217
バイオマス (ペレットストーブ)	kW					13

様式1号
(総括票)

10 県内の工場等におけるエネルギー起源二酸化炭素の排出実績 (所、t-CO₂)

工場等の規模 (原油換算エネルギー使用量)	基準年度		第一年度		第二年度		第三年度	
	工場等数	排出量	工場等数	排出量	工場等数	排出量	工場等数	排出量
3,000k1以上								
1,500k1以上 3,000k1未満								
1,500k1未満	72	3,917	73	4,089	73	4,293	66	5,066
合計	72	3,917	73	4,089	73	4,293	66	5,066

11 県内の工場等におけるエネルギー起源二酸化炭素以外の温室効果ガスの排出実績 (t-CO₂)

ガスの種類	基準年度	第一年度	第二年度	第三年度
非エネルギー起源 CO ₂	0	0	0	0
CH ₄	0	0	0	0
N ₂ O	0	0	0	0
HFC	0	0	0	0
PFC	0	0	0	0
SF ₆	0	0	0	0
NF ₃	0	0	0	0
合計	0	0	0	0

12 次世代車使用台数等の導入状況 (台)

自動車種別	基準年度	第一年度	第二年度	第三年度
プラグイン・ハイブリッド自動車	0	0	0	0
電気自動車	0	0	0	0
燃料電池自動車	0	0	0	0
クリーンディーゼル自動車	0	0	0	0
その他 (ハイブリッド等)	0	0	1	0
合計	0	0	1	0
自動車総数	57	57	59	56
次世代車導入割合			1.7	

様式1号
(総括票)

1.3 交通対策状況

区分	実施内容
公共交通機関の利用促進	私用車の駐車場を有料とするディスインセンティブの設定
自転車利用促進	スマートムーブ通勤ウィークの実施 近距離移動時の自転車使用
来客者の交通対策	なし
物流の合理化	施設間メール便の効率化

1.4 環境配慮活動状況

環境配慮活動	活動内容の詳細		実施年度
	実施内容		
<input type="checkbox"/> SDGs	長野県SDGs登録制度へ登録している		
<input checked="" type="checkbox"/> 環境マネジメントシステム	環境マネジメントシステムを導入している		2016
	名称	エコアクション21	
<input type="checkbox"/> TCFD提言	気候関連財務情報開示タスクフォース (TCFD) 支持を表明している		
<input type="checkbox"/> グリーンボンド	グリーンボンドを発行している		
<input type="checkbox"/> ESG投資	ESG対話プラットフォームに登録している		
<input type="checkbox"/> SBT	SBT を策定済、またはコミットしている		
<input type="checkbox"/> RE100	<input type="checkbox"/>	RE100にコミットしている	
	<input type="checkbox"/>	再エネ100宣言RE Action へ参加している	
<input type="checkbox"/> その他			

1.5 自由記載欄